



## 地域創造フェスティバル 2010 おんかつシンポジウム報告書

催事の名称	地域創造フェスティバル 2010 おんかつシンポジウム 「地域と大学の連携プログラム（音楽分野）」
登壇者	小澤櫻作ディレクター（(財)地域創造）、武石みどり教授（東京音楽大学）、津上智実教授（神戸女学院大学）、赤木舞助教（昭和音楽大学） 進行：武濤京子准教授（昭和音楽大学）
実施日時	2010年8月5日（木）13：00－15：00
実施場所	東京芸術劇場 5階 中会議室 〒171-0021 東京都豊島区西池袋1丁目8番1号
主催	財団法人地域創造
共催	東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
来場者数	一般参加者 43名、スタッフ等 12名
催事の概要	<p>8月3日から5日にかけて開催された「地域創造フェスティバル 2010」のプログラムの一環として、おんかつシンポジウム「地域と大学の連携プログラム（音楽分野）」が実施された。</p> <p>シンポジウムは地元自治体との連携活動に先進的に取り組んできた大学（昭和音楽大学・東京音楽大学・神戸女学院大学）の事例を紹介し、今後の地域と大学の協働のあり方や、地域でのコーディネーターの役割を担う人材の必要性等について、参加者とともに考えることを主旨としている。</p> <p>はじめに自治体と大学の連携について、津上教授、武石教授、赤木助教から順に各大学の取組についてプレゼンテーションがあり、これを受けて小澤ディレクターからコメントを頂くとともに、フロアの参加者から各々の経験等のコメントを頂いた。続いて地域でのコーディネーター人材の必要性を踏まえて、武石教授より3大学連携プロジェクトについての説明が行われた。2011年度においては各大学がそれぞれ公共ホールと連携した事業の実施を計画していることがアピールされ、「大学としてはできるだけ社会と接する場をつくりたい」「大学と地域が互いに話し合う機会を増やしたい」という我々の発言に、フロアの参加者がうなずきながら聞き入る様子が見られた。フロアの文化施設担当者からは、大学と協力してキッズファッションショーを実施した経験から、音楽大学がない地域にとって地域の枠を越えた連携が必要と感じる等のご意見を頂いた。</p>
報告・成果	<p>各大学の取組および3大学連携プロジェクトのアピールとしては十分な効果があったと考えられる。フロアの参加者が配布資料にしっかりと目を通す姿が見受けられ、特に2011年度に予定されている公共ホールと各大学との連携企画については、フロアの参加者が興味深く聞き入っていた。</p> <p>シンポジウム終了後、来場者からは「大学側も公共ホールと連携したがつている</p>

	<p>ことを初めて聞いた」「(ホールが)アウトリーチをする際に、プログラム開発から運営まで学生に参加させる機会を提供することも可能だと思われる」「学生の勉強を兼ねた地域へのフィードバックがあるとより良いと思う」など、我々の試みに高い関心と理解を示したコメントを頂くことができた。</p>
<p>今後の事業への反映</p>	<p>地域にアーティストがいない、音大がない等、公共ホールによってそれぞれの事情があり、今後様々な繋がりを求めるニーズがあると考えられる。今後の当プロジェクトの動きとしては、提携先との具体的な構想を話し合っていく段階となり、今回のような機会を重ね、互いに求めるものを話し合う積極的な姿勢が必要となろう。</p>

